

委員会発議案第3号

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和3年9月24日

鈴鹿市議会議長  
森 雅之 様

提出者  
文教環境委員会  
委員長 水谷 進

(提案理由)

国に対し、教職員定数改善計画の策定・実施とそれにとりまう教育予算の拡充を要請するため。

## 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

令和3年4月、国の学級編制基準が40年ぶりに引き下げられ、小学校35人学級が実現した。また、今後5年間で2年生から順次引き下げるとしているが、中学校については、現時点においては、学級編制の標準の引き下げはない。三重県では、現在、中学校1年生の35人学級が実施されている。しかし、その他の学年については、義務標準法にしたがって、40人学級が基本となっている。

教職員定数を改善することで、少人数学級の実現や教科専門性の向上、生徒指導や支援体制の強化を促し、生徒一人ひとりに対してのよりきめ細かな指導が実現し、山積する教育課題の解決へつながると考える。

以上のような理由から、教職員定数改善計画の策定・実施とそれにもなう教育予算の拡充を切望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月24日

鈴鹿市議会議長 森 雅 之